

航空連合NEWS

発行：航空連合／発行人：長谷川 樹 〒144-0041東京都大田区羽田空港1-6-5 第5綜合ビル5階 TEL (03) 5708-7161 FAX (03) 5708-7163

羽田空港航空機衝突事故を踏まえ実効性ある法対応を！ ～伴野豊議員(立憲民主党)が質問！～

5月22日（木）、衆議院国土交通委員会において立憲民主党所属の伴野豊（ばんの ゆたか）衆議院議員が、審議中の航空法・空港法改正に関して質問しました。航空連合としてこれまで伝えてきた課題認識（NEWS EXPRESS 26-60および同62参照）も踏まえ、法案の早期成立・施行に向けて取り組んでいきます。



伴野 豊
衆議院議員

- 羽田空港航空機衝突事故後に設置された「対策検討委員会」の「中間取りまとめ」を踏まえ、「**管制官の人的体制の強化・拡充**」として提起された「主要5空港における緊急増員」、「航空保安大学校の採用枠の拡充」、さらに「離着陸調整担当の新設」の進捗を確認したい。

- 今般の法改正により、**主要空港には「滑走路安全チーム」が設置**されることとなったが、どのような機能を持つことを想定しているか。

- **管制官の人的体制強化については、予定通り**進めている。
- さらに**管制官の疲労管理システムの高度化**について、現場職員の声も踏まえ、**令和8年度の開始**をめざして進めていく。

- 「滑走路安全チーム」の設置により、**ヒヤリハットの情報収集、誤侵入防止の具体化**など効果的な**安全対策**が実施されると認識しており、**有効策の他空港への横展開も期待**できる。
- 今後、運輸安全委員会による事故報告書も踏まえ、さらに必要な対策を講じていきたい。



平岡
航空局長



中野
国土交通大臣